

釧路信金と東洋ビル協定

企業主導型保育事業で連携

釧路信用金庫（佐藤禎一理事長）は6月29日、釧路市川上町に開設された企業主導型保育園「第2の我が家 フレンドランド保育園」を運営する東洋ビル開発（瀧波大亮代表取締役社長）と、「企業主導型保育事業の共同利用に関する連携協定」を締結した。

（小西靖）

東洋ビル開発は、繁華街の末広地区で大型飲食店ビル「オリエンタルプラザビル」を運営。テナントの営業時間は深夜に及ぶことも多く、そこで働く従業員の子供らに対する育児支援のため、同事業の助成金制度を活用して保育園事業を

実施。保育園の運営は、市内でフレンド幼稚園を運営している北海道学院で、同園7人の保育士が対応している。

同金庫は、職員の仕事と子育ての両立を支援するところが福利厚生だけでなく、人材確保や職員の能力発揮

などにもつながることから同協定を結んだ。これにより、同金庫の職員やパートの2人を上限として施設を利用することができる。定員に空きがある場合は、これを超えて利用する可能性もあるという。



協定書を交わす佐藤理事長（右）と瀧波社長

同金庫で行われた契約締結式で瀧波社長は、「現在1人の児童を預かっていて、勤め先と子供の母親から喜ばれている。今後も共同利用する企業を増やしていきたい」と述べ、佐藤理事長は「企業の第1号として声を掛けてもらいうれしい」とした上で、「女性職員は結婚すると子育てなどで退職し、子供が小学校に上がるとパートとして戻ってくるケースも多い。職員の働く環境を整えば、パートではなくそのまま職員と

して働けるのでありがたい」と述べた。